

## 長期航海・遠距離大型航海に関する深海調査研究中期戦略

「長期航海・遠距離大型航海」の実施については、過去の提案および「深海調査研究5年ヵ研究指針」から海域をまとめ大枠を示し、平成18年度は台湾沖、フィジー・マヌス海盆、ケルマデック・フレンチポリネシア海域、オントンジャワ海域の航海を採択実施しますが、平成19年度も添付図のように以下の5つの大テーマに沿った研究課題を募集します。

### (1) Ridge and Biosphere

対象となる海域の例： 南部東太平洋海膨、ラウ海盆、ロドリゲス三重点、紅海、アトランティスバンク、大西洋中央海嶺 等

### (2) Dysoxic - Anoxic Ocean

対象となる海域の例： アラビア海（オマーン沖、インド沖）、黒海、紅海、地中海 等

### (3) Margins and Hotspots

対象となる海域の例： ポリネシア、地中海、オントンジャワ海台、コスタリカ沖、カスカディア 等

### (4) 大深海・超深海 (Abyssal to hadal zone)

対象となる海域の例： 日本周辺の海溝、マリアナ海溝、トンガークルマディック海溝、パラオ海溝、フィリピン海溝、 等

### (5) アジア周辺の海 (Asian Seas)

対象となる海域の例： オホーツク海、中国沖、台湾沖、ベトナム沖（トンキン湾）、サンギへ諸島周辺、スマトラ沖、スル海 等

付記： 総合的かつ集中的な研究調査行動と効率的な運航実施を行う観点から、H19年度には、(4)大水深と(5)アジア海域への応募を期待いたします。なお、(2)については、H20年度の実現を目指して準備されることを期待いたします。

また、IODP サイトサーベイ等のため、マルチチャンネル反射法探査を伊豆・小笠原周辺海域について測線提案型を公募いたします。

添付図：長期航海・遠距離大型航海に関する深海調査研究中期戦略図

長期航海、遠距離大型航海に関する  
深海調査研究中期戦略

